

2012年3月期 第2四半期  
決算説明会資料



株式会社 エディオン



2011.11

# 前回決算説明会の結果検証

<p><b>2011年度出店計画</b> 通期計画 19店 うち上期 7店</p>	<p>△</p>	<p><b>出店実績6店舗</b> 通期計画は変更無し</p>
<p><b>エコ・リビングソーラー事業</b> 通期計画400億円</p>	<p>△</p>	<p><b>上期実績134億円</b> 計画対比81.2% 前年対比142.1%</p>
<p><b>携帯電話事業</b> 年間計画100万台 スマートフォン 50%</p>	<p>○</p>	<p><b>上期実績49.2万台</b> スマートフォンの台数構成比42.7%</p>
<p><b>インターネット会員数</b> 会員数純増12万人を目指す</p>	<p>△</p>	<p><b>上期実績4.5万人の純増</b> エンジョイネット2.4万人 クオルネット2.1万人</p>
<p><b>組織改革による体質強化</b> 重複部門の統合 物流改革 サンキューの完全子会社化</p>	<p>○</p>	<p><b>予定通り順調に進行中</b> 各統括本部を廃止、人事制度統一に着手 ロジスティクスセンターの再編開始 10月3日にサンキュー全株式を取得</p>
<p><b>公表計画</b></p>	<p>△</p>	<p><b>売上は未達・利益をすべて達成</b> 通期でも年初の利益計画を達成の見通し</p>

# ***CONTENTS***

**1. 2011年度 上期実績**

**2. 今後の見通しと 当社の戦略**

**3. 2011年度 通期計画**

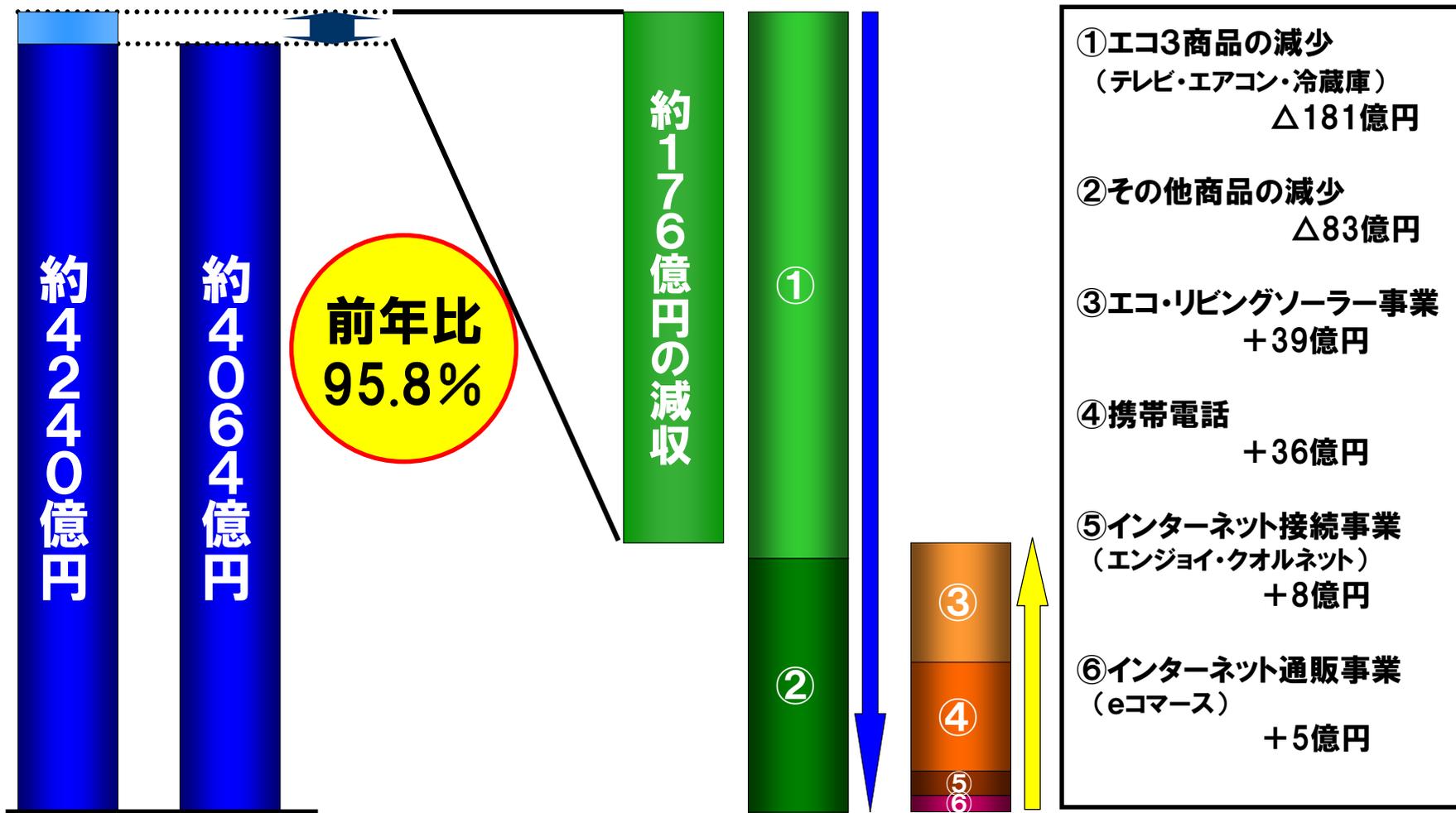
# ***CONTENTS***

## **1. 2011年度 上期実績**

2011年4月1日～2011年9月30日

(単位) 百万円・%	2011年度実績			2010年度実績		2011年度計画	
	売上比	上期	前年比	売上比	上期	売上比	上期
売上高	100.0	406,422	95.8	100.0	424,063	100.0	436,000
売上総利益	25.1	101,832	97.0	24.8	104,992	24.2	105,500
販売管理費	22.1	89,854	97.3	21.8	92,332	21.6	94,000
営業利益	2.9	11,977	94.6	3.0	12,660	2.6	11,500
経常利益	3.9	15,853	97.7	3.8	16,232	3.6	15,500
四半期純利益	2.7	10,954	178.8	1.4	6,128	2.0	8,900
出店数(家電) (S&B含む)	—	6	—	—	7	—	7

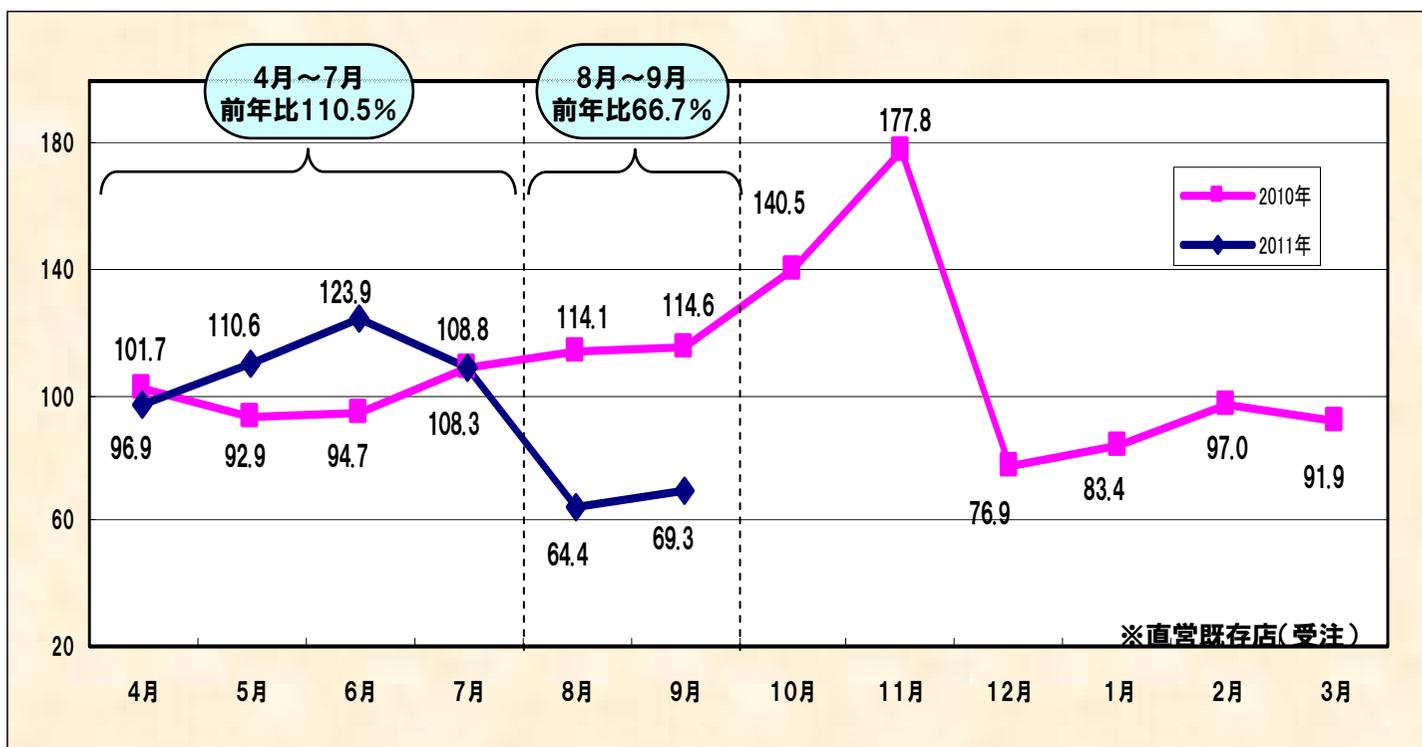
# 「アナログ停波」「猛暑」の反動減を新規事業でカバー



2010年上期 2011年上期

# アナログ停波と猛暑の反動により、既存店前年比93.9%

直営既存店 受注前年比 推移（2010年4月～2011年9月）



RC既存	2010 前年比	2011 前年比
第1 四半期	96.2	111.3
第2 四半期	112.1	81.6
第3 四半期	125.1	-
第4 四半期	90.3	-
上期計	104.9	93.9
下期計	107.6	-
通期計	106.4	-

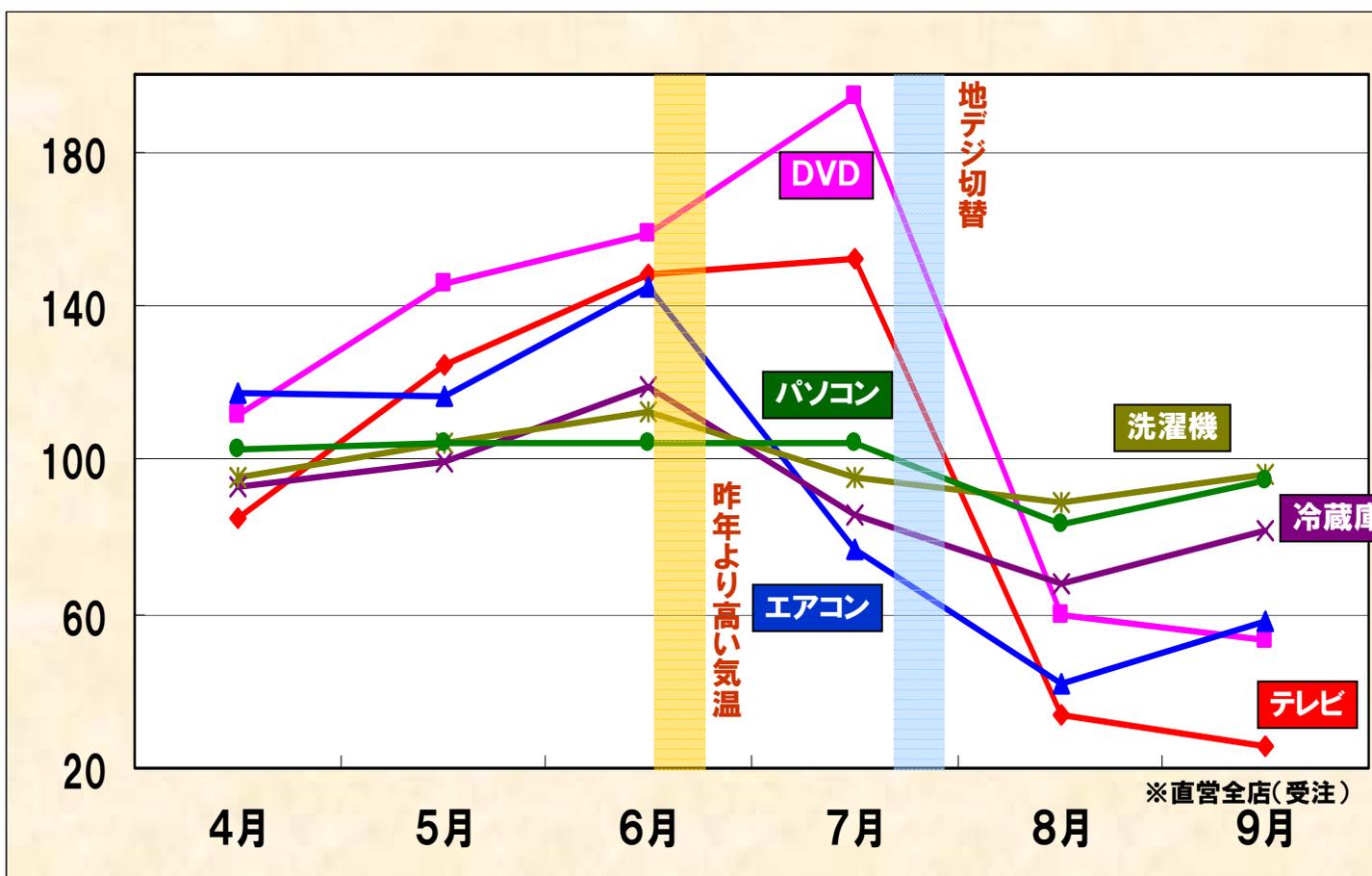
地デジ切替需要

反動減

節電需要

# テレビ・エアコン・冷蔵庫で、前年を大きく下回る

直営全店 受注前年比 推移 (2011年4月~2011年9月)



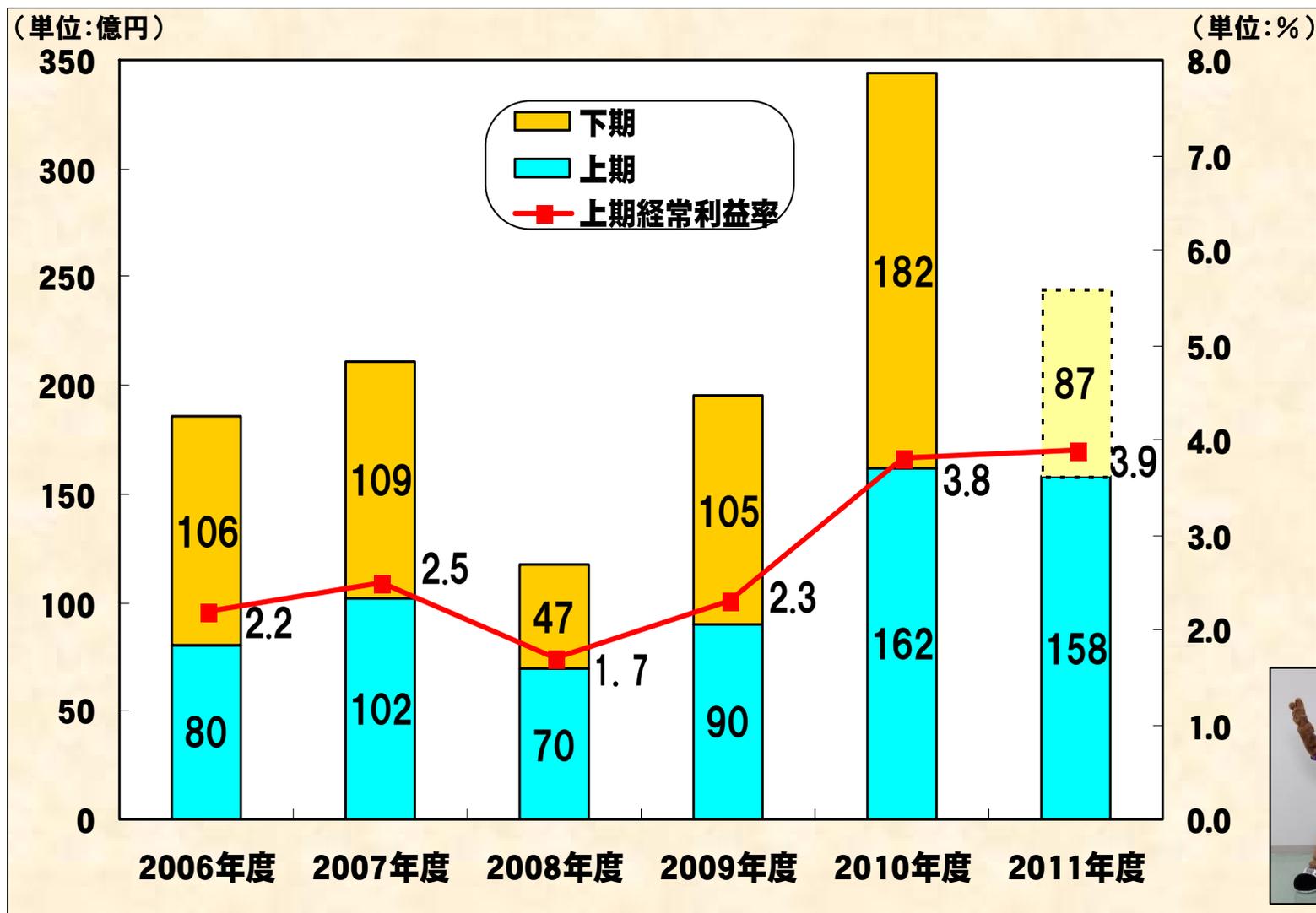
主要品種	上期累計前年比
テレビ	86.5
DVD	116.5
エアコン	83.3
冷蔵庫	87.6
洗濯機	98.3
パソコン	98.4

## 上期 販管費を25億円圧縮

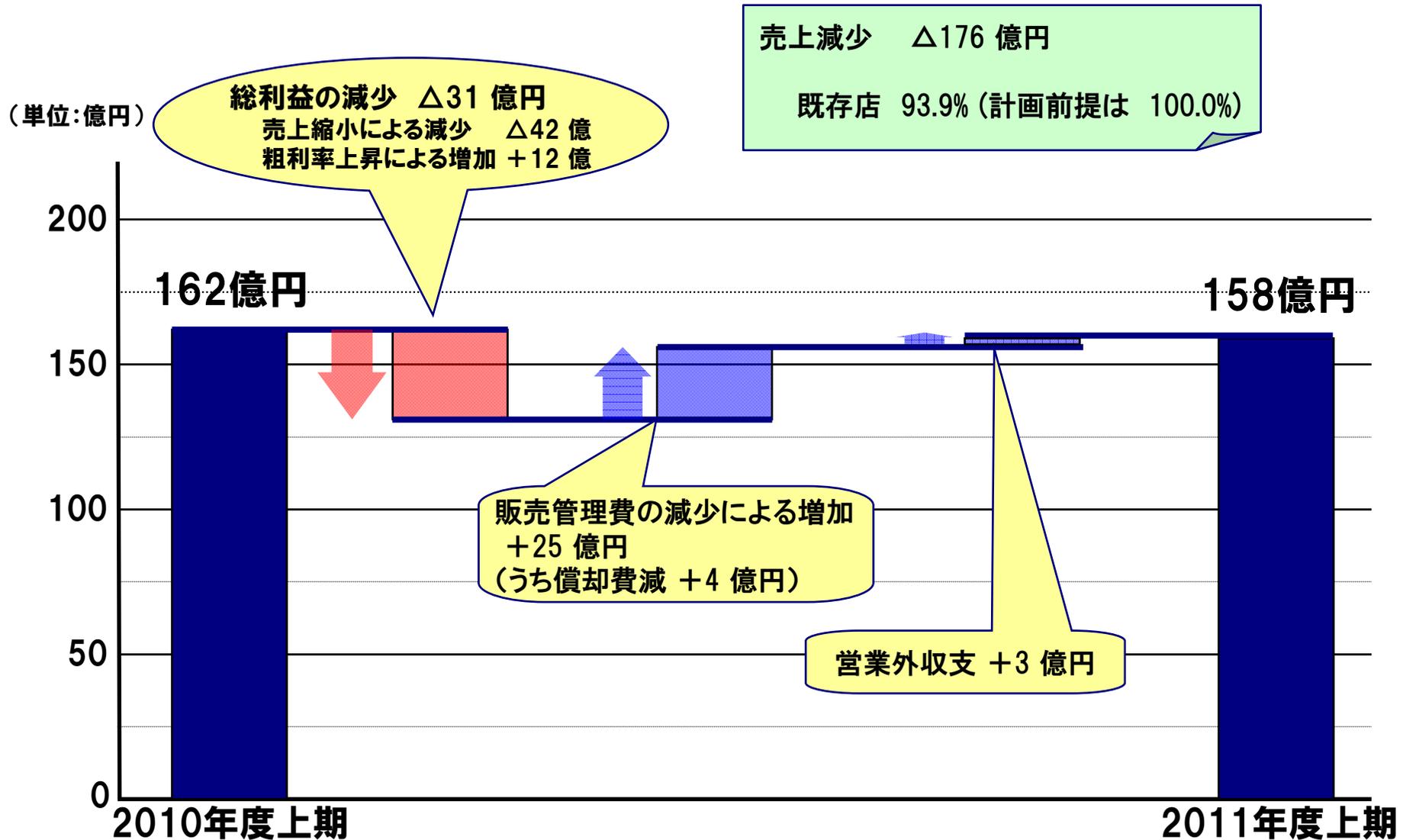
(単位) 百万円・%	2011年度実績		前年増減		2010年度実績		2011年度計画	
	売上比	上期	金額	売上比	売上比	上期	売上比	上期
広告宣伝費	2.7	11,119	-628	-0.0	2.8	11,747	2.8	12,400
販売費	2.2	9,006	+96	+0.1	2.1	8,910	2.5	11,000
人件費	9.8	40,025	-234	+0.4	9.5	40,260	9.1	39,600
設備費	5.7	23,010	-1,297	-0.1	5.7	24,308	5.5	24,000
その他販管費	1.6	6,692	-413	-0.0	1.7	7,105	1.6	7,000
販管費合計	22.1	89,854	-2,478	+0.3	21.8	92,332	21.6	94,000

- ・広告宣伝費は、売上比でほぼ前年並み、金額はポイント経費など前年から約6億円減少。
- ・販売費は、売上比で0.1%増、金額は商品保証費の増加など前年より約9,600万円の増加。
- ・人件費は、売上比で0.4%増、金額はパート社員の採用抑制など前年より約2億円減少。
- ・設備費は、売上比で0.1%減、金額は減価償却費や地代家賃の減少など前年から約12億円減少。
- ・その他販管費は、売上比でほぼ前年並み、金額は前年から約4億円の減少。
- ・販管費合計では、売上が減少し、売上比で0.3%上昇したが、金額は前年から約25億円減少。

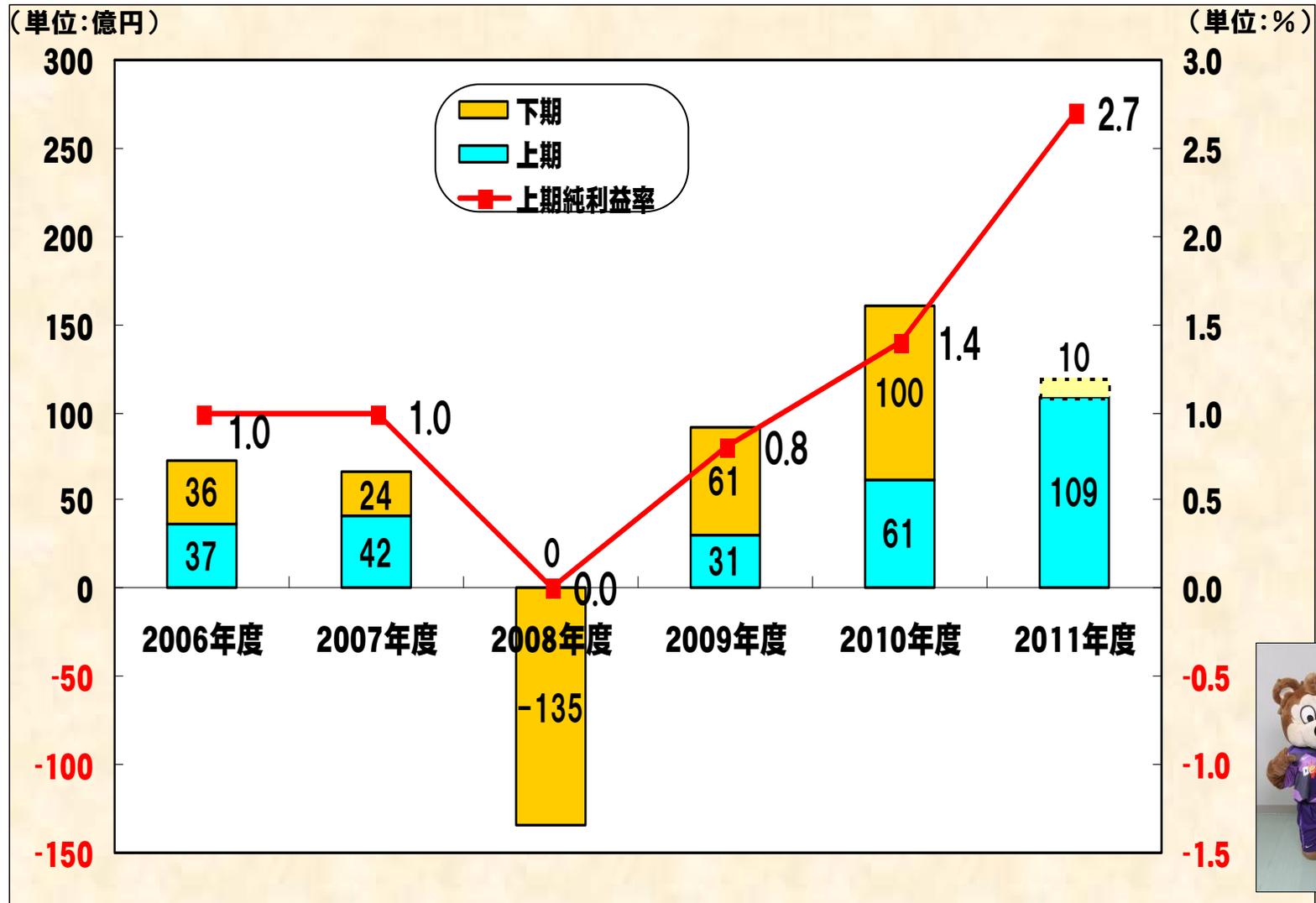
# 経常利益額は公表値を達成、利益率は過去最高を更新



# 売上高の減少を経費の圧縮でカバー



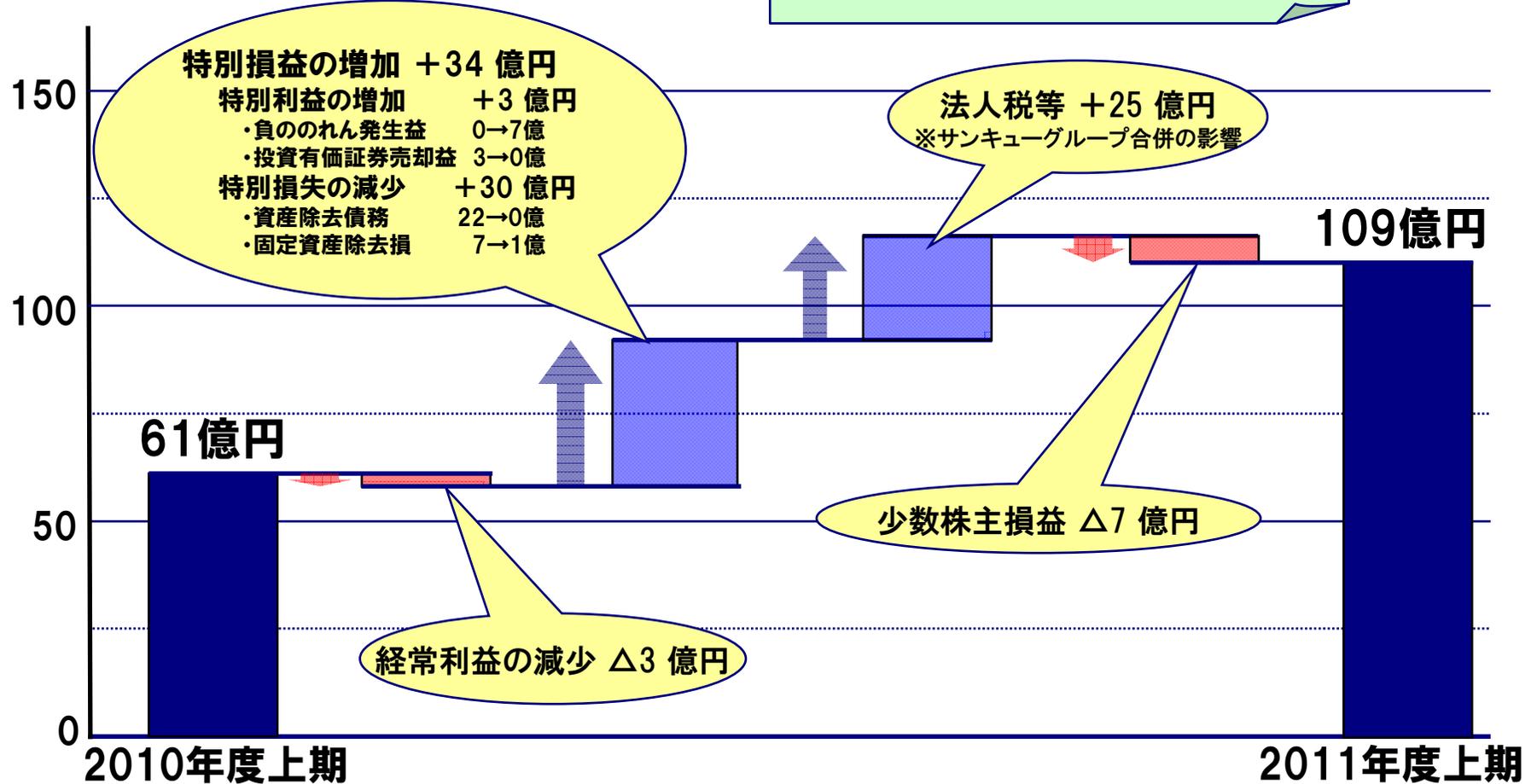
# 四半期純利益額・利益率とも過去最高を更新



特別損失の減少などにより、四半期純利益額が48億円の増加

(単位:億円)

売上減少  $\Delta 176$  億円  
 既存店 93.9%(計画前提は 100.0%)



## 総資産金額 354億円の圧縮

(単位:百万円)	2011年3月	2011年9月	増減額	
<b>流動資産</b>	174,259	144,556	△29,702	<b>主な資産の状況</b> ●流動資産 △297億円 うち商品 △49億円 ●在庫回転率 △1.1回転 2010年 10.5回転 ↓ 2011年 9.4回転 ●固定資産 △57億円 ●総資産 △354億円
<b>現預金</b>	21,594	11,969	△9,624	
<b>売掛金</b>	40,083	26,239	△13,844	
<b>商品</b>	89,131	84,183	△4,948	
<b>固定資産</b>	229,130	223,374	△5,756	
<b>建物等</b>	77,433	75,412	△2,021	
<b>土地</b>	75,433	76,381	+948	
<b>敷金保証金</b>	32,136	30,590	△1,546	
<b>総資産</b>	403,399	367,931	△35,468	
<b>総資産回転率</b>	2.2回転	2.3回転	+0.1回転	

## 自己資本比率が40%台へ、有利子負債依存度も30%以下を維持

（単位：百万円）

	2011年3月	2011年9月	増減額
<b>流動負債</b>	148,513	113,313	△35,200
<b>買掛金</b>	55,085	36,137	△18,947
<b>短期負債</b>	43,596	37,148	△6,447
<b>固定負債</b>	98,938	96,842	△2,095
<b>社債等</b>	15,500	1,765	△13,735
<b>長期借入金</b>	48,563	61,158	+12,595
<b>純資産合計</b>	155,947	157,775	+1,827
<b>自己資本</b>	141,087	150,988	+9,900
有利子負債依存度	26.97%	27.50%	+0.53
自己資本比率	34.98%	41.04%	+6.06

### 主な負債・純資産の状況

●負債           △372億円  
短期借入金   △85億円

●純資産           +18億円  
四半期純利益   109億円  
少数株主持分   △81億円

●有利子負債依存度  
27.50%       +0.53%

●自己資本比率  
41.04%       +6.06%

←（転換社債含む）

## 自己資本比率の大幅改善と、社債発行登録の実施

	2010年度 通期	2011年度 上期	増減	備考
自己資本 比率	34.98%	41.04%	+6.06	自己資本比率の目標である40%以上を達成。
有利子負債 依存度	26.97%	27.50%	+0.53	有利子負債総額は、前期末から76億の減少。 依存度は目標の30%以下を維持。
総資産 回転率	2.23回転	2.29回転	+0.06	総資産が354億円減少した事が主な要因。

### 2011年10月14日付 社債発行登録届出

【届出内容】

- 発行上限額                    200億円
- 効力発生期間   10月22日から2年間  
→機動的な社債の募集・発行が可能に

2011年7月に  
日本格付研究所(JCR)から  
シングルAマイナスの格付取得  
(長期優先債務格付)

# フリー キャッシュ・フローが高い水準

(単位:百万円)

	2010年度2Q	2011年度2Q	増減額
<b>営業CF</b>	21,307	11,283	△10,024
税引前利益	13,384	16,413	+3,028
減価償却費	7,260	6,819	△440
<b>投資CF</b>	△6,231	△1,168	+5,063
有形固定資産取得	△7,774	△3,622	+4,151
無形固定資産取得	△1,154	△544	+610
<b>財務CF</b>	△15,310	△18,134	△2,824
現金残高	17,630	11,970	△5,659
<b>フリーCF</b>	+15,075	+10,114	△4,960

## キャッシュ・フロー

●営業CF +112億円  
(前年△100億円)

●投資CF △11億円  
(前年+50億円)

●財務CF △181億円  
(前年△28億円)

## 直営店6店舗を出店

### 店舗数増減(2011年4月～2011年9月)

	2011年 3月末	新設	移転・ 建替	閉鎖	2011年 9月末
家電店	340	4	2	1	343
非家電店	75	0	0	2	73
<b>直営店計</b>	<b>415</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>416</b>
FC店	715	20	0	9	726
<b>全店計</b>	<b>1,130</b>	<b>24</b>	<b>2</b>	<b>12</b>	<b>1,142</b>
<b>直営売場面積</b>	1,028,029㎡	+8,563㎡		△12,989㎡	1,023,603㎡

※非家電店・・・携帯電話専門店、ホームセンター、ソフト専門店等

## 県別店舗数および出店店舗

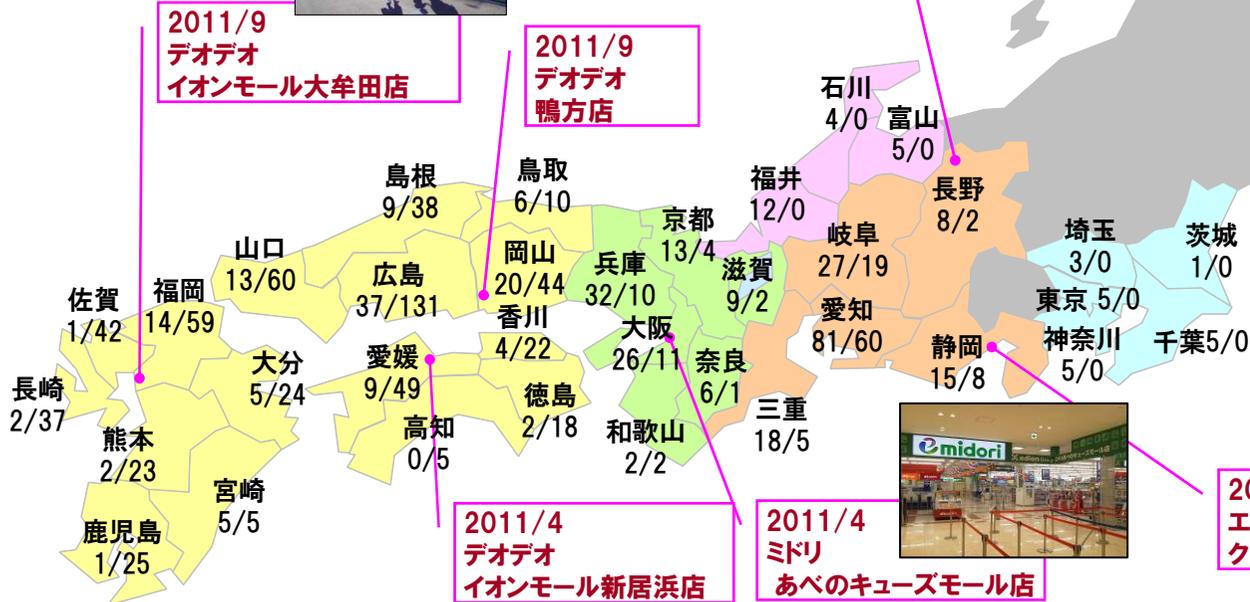
店舗数 RC/FC

RC: 直営店舗数

FC: フランチャイズ店舗数

● 直営家電出店店舗

沖縄  
0/10



	RC	FC	合計
北海道	9	0	9
関東	19	0	19
北陸	21	0	21
中部	149	94	243
近畿	88	30	118
中国	85	283	368
四国	15	94	109
九州	30	225	255
<b>合計</b>	<b>416</b>	<b>726</b>	<b>1,142</b>

※2011年9月 末現在

# *CONTENTS*

## 2. 今後の見通しと 当社の戦略

# テレビの需要減などで市場規模が約1兆円縮小

## 2011年度 家電需要額



※メーカー予測等に基づく当社推定値

## エコ・リビングソーラー

売上高  
400億円

## 通信ビジネス

携帯電話  
100万台販売  
インターネット会員  
12万人増加

## 出店の加速

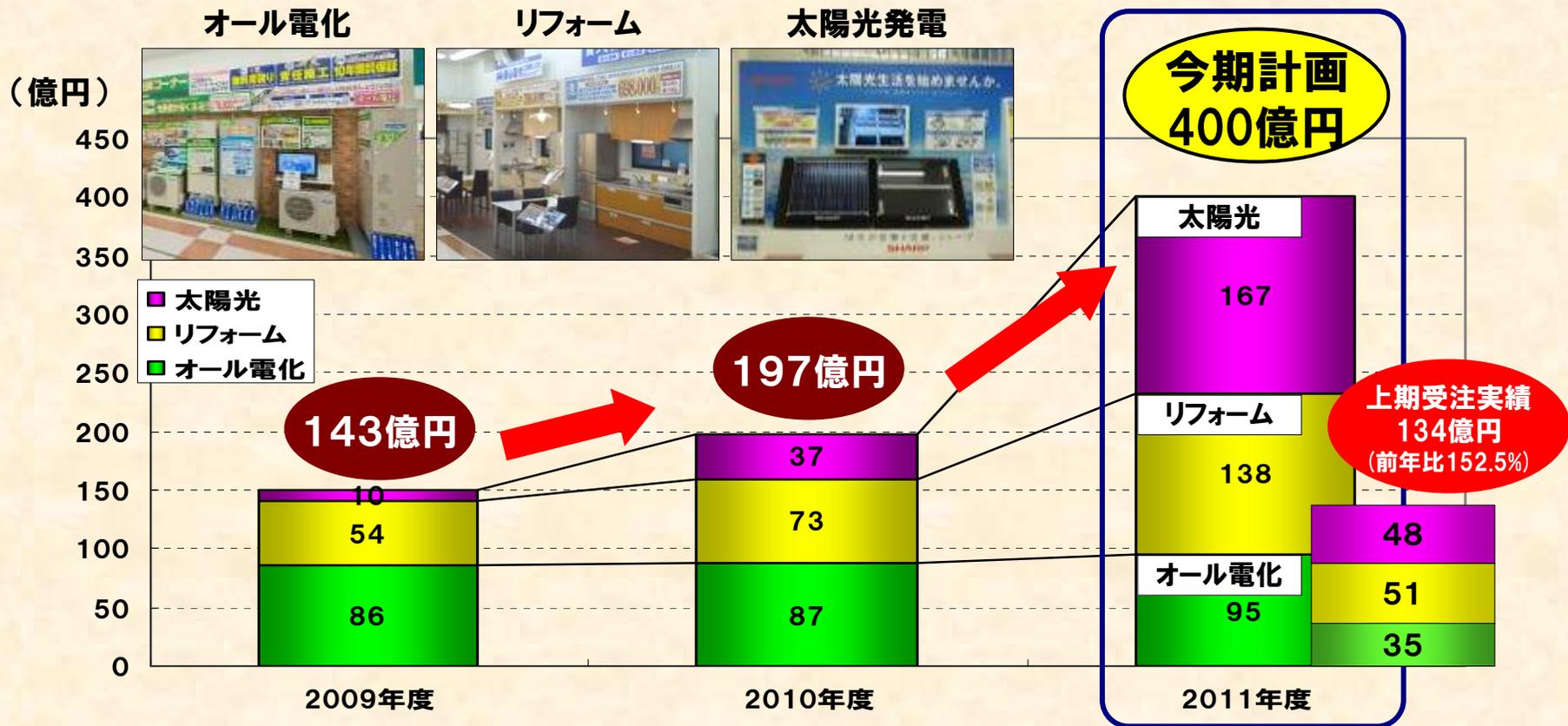
19店舗出店  
地域シェアアップ

## 組織改革による体質強化

- ①サンキューの完全子会社化、
- ②物流改革などの推進、
- ③重複部門の統合

# 成長しているエコ・リビングソーラー事業で年間400億円

## エディオングループ販売計画



# 販売体制強化と販促の強化で、計画達成を目指す

## 今期計画400億を支える 強化施策

### ● リフォーム展開店舗数の拡大

	2010年 3月末	2011年 3月末	2011年 9月末	2012年 3月末(計画)
展開店舗	67店舗	120店舗	156店舗	161店舗
増加数		+53店舗	+36店舗	+5店舗

※サンキュー34店含む

年初計画を  
2店舗前倒し!

### ● 人員体制の強化

	2011年 3月末	2011年 9月末	2012年 3月末(計画)	増加数
店舗担当	354名	345名	447名	+102名
訪問営業	36名	68名	95名	+27名
担当者計	390名	413名	542名	+129名

※サンキュー人員除く



エコ・リビングソーラー単独チラシ



キャラバンカーにより訴求を強化

# スマートフォン強化で携帯電話の年間売上100万台を目指す



需要拡大へ向け、サプライ品を充実



スマートフォン売場を拡大



スマートフォン  
普及ペース拡大!

## <国内スマートフォン市場>

市場規模はわずか2年で  
10倍に成長



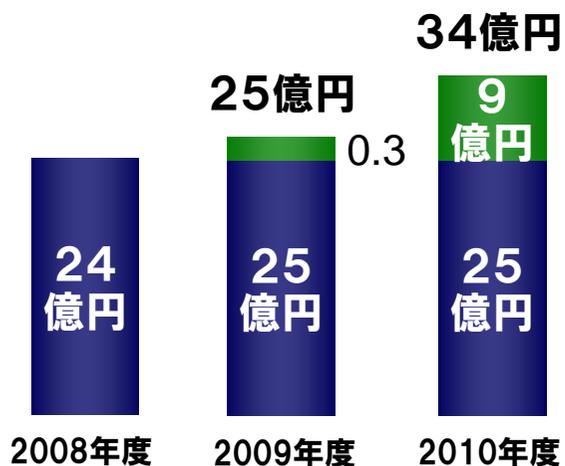
## 2011年度計画

- 携帯電話販売台数
  - 2010年度実績 85万台 上期実績 49.2万台
  - 2011年度計画 100万台
- スマートフォン構成比
  - 2010年度実績 約20% 上期実績 43%
  - 2011年度計画 約50%

# インターネット接続会員数の12万人増を目指す

内訳	区分	2011年3月末 会員数	2011年度 上期実績	2011年9月末 会員数	2011年度 下期計画	2012年3月末 会員数(計画)
 edion Kooru net WIRELESS BROADBAND	無線ブロードバンド	3.8万人	+2.1万人増	5.9万人	+4万人増	10万人
 www.enjoy.ne.jp	有線ブロードバンド	21.8万人	+2.4万人増	24.2万人	+3.7万人増	28万人
合計		25.6万人	+4.5万人増	30.2万人	+7.7万人増	38万人

## 年間会費収入の推移



## 2011年度計画

50億円

24  
億円クオル  
ネット26  
億円エンジョイ  
ネット

2011年度

上期  
会費収入が順調に伸張!

## 今期計画

- 会員数  
26万人 → 38万人
- 年間会費収入  
34億円 → 50億円
- \* スマートカラオケ  
11月から発売開始  
→クオルネット・エンジョイネットの  
同時加入キャンペーン開始

## 新規・S&Bを含め、第3四半期で7店を出店予定

店名	オープン月	ストアブランド	区分	出店場所	面積
イシマル 西上尾店	2011年10月	 ishimaru	移転	埼玉県上尾市	約745坪
エイデン 新中島店	2011年10月	 EIDEN	新規	名古屋市中川区	約588坪
エイデン 上田しおだ野店	2011年11月	 EIDEN	新規	長野県上田市	約698坪
ミドリ 寺町店	2011年11月	 midori	新規	京都市下京区	約670坪
エイデン 松本村井店	2011年12月	 EIDEN	新規	長野県松本市	約450坪
ミドリ イオン和田山店	2011年12月	 midori	新規	兵庫県朝来市	約380坪
ミドリ 都島ベルファ店	2011年12月	 midori	新規	大阪市都島区	約850坪

中部以西、出店強化準備中

# サンキュー株式の100%を取得し、完全子会社へ

## ●会社概要

会社名	株式会社 サンキュー
設立	1976年 11月
資本金	10百万円
店舗数	48店舗
正社員数	826名
2010年度売上高	803億円(連結)
主なストアブランド	「100満ボルト」 「ミスターコンセント」

## ●業績

(単位) 百万円・%	2011年度実績		2010年度実績	
	売上比	上期	売上比	通期
売上高	100.0	35,744	100.0	80,336
売上総利益	24.5	8,759	24.4	19,562
販管費	19.4	6,946	17.8	14,322
営業利益	5.1	1,813	6.5	5,239
経常利益	5.0	1,801	7.3	5,831
当期利益	8.7	3,094	3.2	2,548

## ●取得スケジュール

株式譲渡期日:2011年10月3日

株式譲渡金額:4,823百万円

→議決権所有割合が、従来の40%から100%となり、  
完全子会社化

低コストオペレーションにより、  
高い利益率を実現

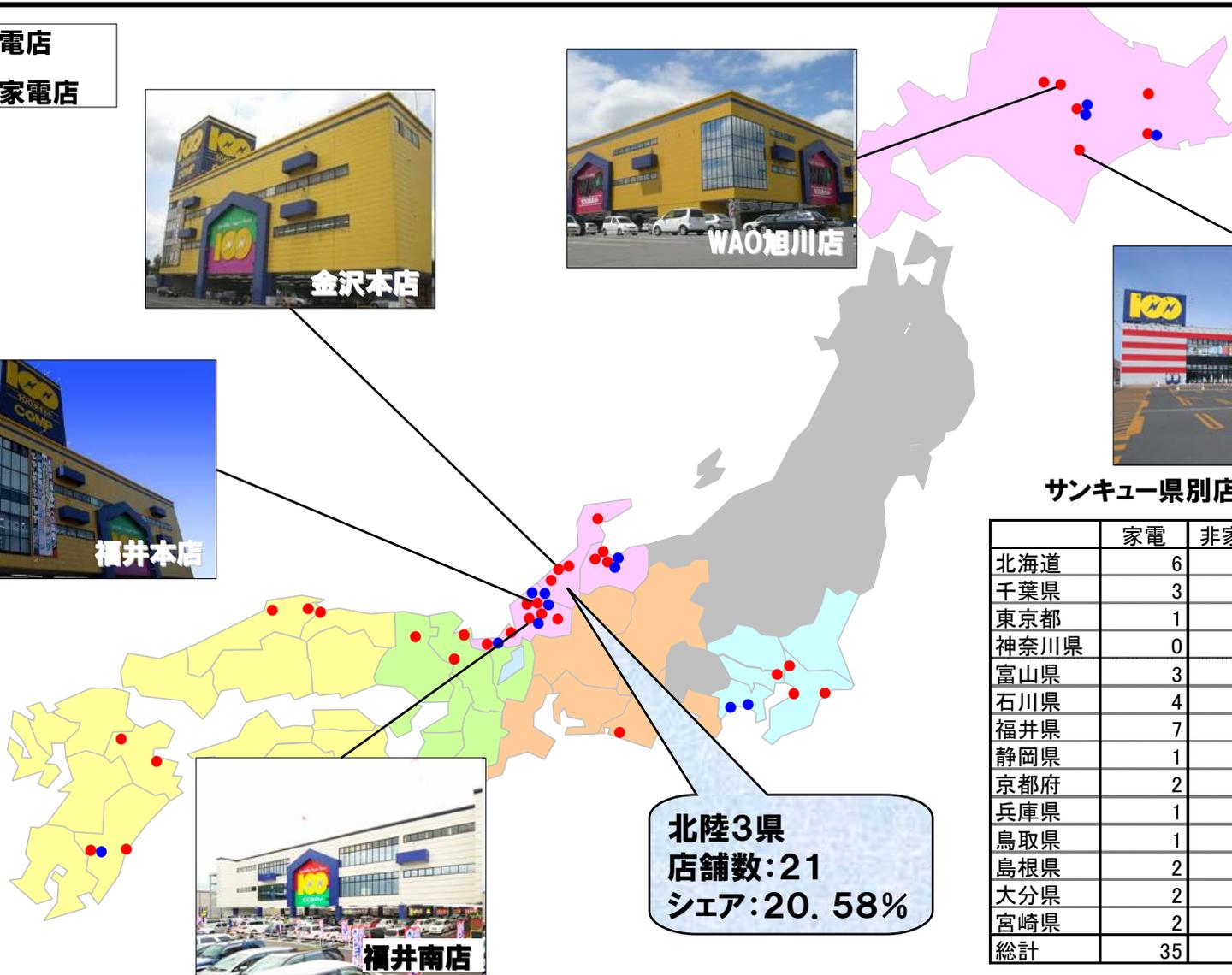
## ●業績に与える影響額

- ・負ののれんの発生(約18億円:上期7億、下期11億)
- ・退職金制度導入による 過去勤務債務の計上(約8億円:10年償却)
- ・少数株主持分損失の減少(2010年実績 1,583百万円)
- ・総資産の圧縮(現金の減少 約89億円、少数株主持分の減少 約140億円)



# 北陸・北海道で多数出店しており、エリア補完性が高い

- ・・・家電店
- ・・・非家電店



サンキュー県別店舗数

	家電	非家電	店舗数
北海道	6	3	9
千葉県	3	0	3
東京都	1	0	1
神奈川県	0	2	2
富山県	3	2	5
石川県	4	0	4
福井県	7	5	12
静岡県	1	0	1
京都府	2	0	2
兵庫県	1	0	1
鳥取県	1	0	1
島根県	2	0	2
大分県	2	0	2
宮崎県	2	1	3
総計	35	13	48

# LC再編により、サービス向上と在庫圧縮・経費削減

## LC(ロジスティクスセンター)の再編

### LCの最適配置



**計画**

- LC近畿: 2012年5月開設予定  
→LC京田辺・LC魚崎を廃止して統合
- LC岡山: 2013年2月開設予定  
→LC四国を廃止して移設

## 新LC稼動スケジュール

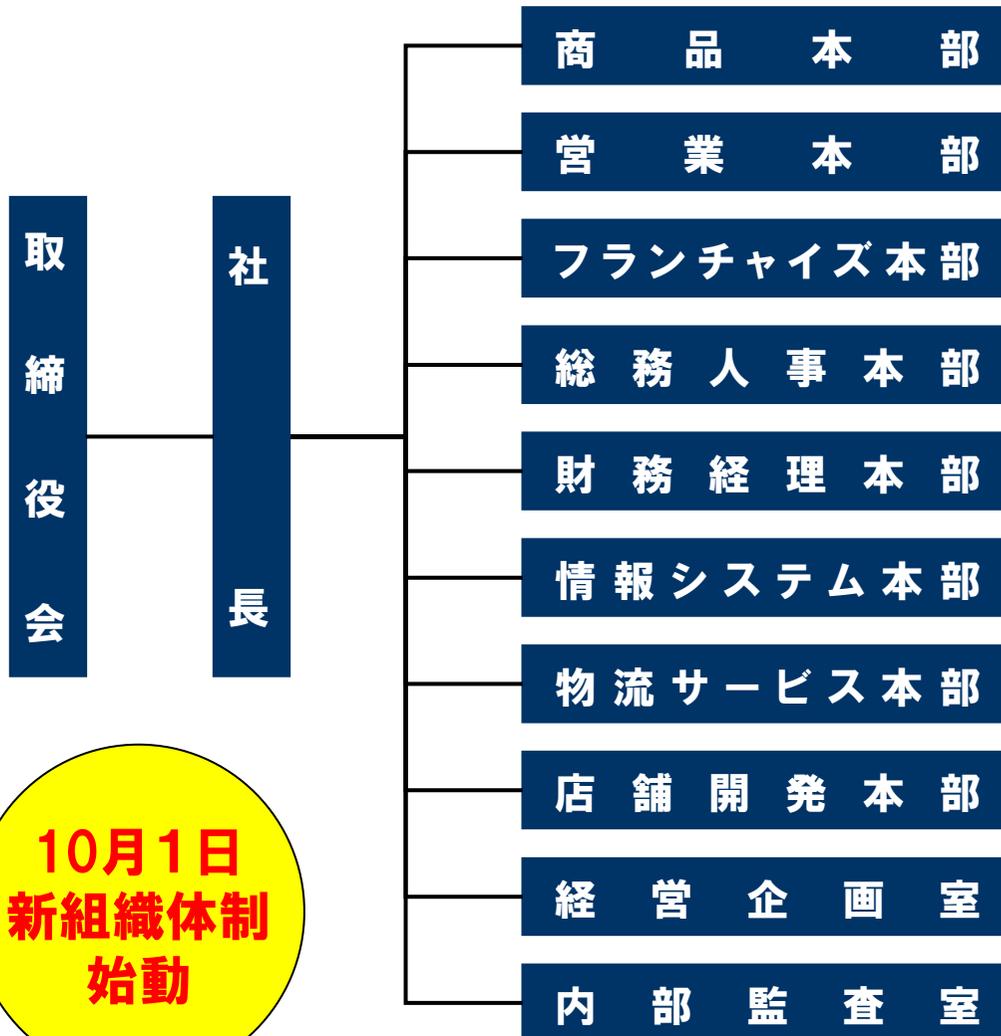
	2012年		2013年
	2月	5月	2月
関東	●		
中部	●		
近畿		●	
岡山			●
中国	●		
九州	●		

調達物流コスト削減

在庫100億円圧縮

**再編効果**  
**10億円**  
(年間)

# 迅速な意思決定と、業務執行が行える体制を構築



10月1日  
新組織体制  
始動

統括本部を廃止



各本部を社長直轄とし、  
迅速に取り組む体制へ



# 2012年4月 人事制度の統一へ

2010年10月  
EAST・WESTと合併

2011年4月  
人事制度 統一作業開始

2012年4月  
新人事制度 一部スタート

2012年10月  
給与制度完全統合

## 人件費比率7%台を目指して 人事制度を統合し生産性を向上

### 人事制度の統合

- 2012年4月から  
新制度一部スタート
- 2012年下期より完全統一

### 適正人員数への施策

- 2013年大卒定期採用をゼロへ  
→当面は、「増員無き増床」
- 本部人員のスリム化  
→来期までに350人を配置転換

# ***CONTENTS***

## **3. 2011年度 通期計画**

## 2011年度 通期計画

**売上高 8,200億円 (前年比 91.0%)**

- ▶下期既存店前年比は、年初計画と同様86%
- ▶出店(移転含む) 19店舗による売上増加

**売上総利益率 24.2% (前年比 +0.1%)**

- ▶下期粗利率は、年初計画と同率の23.3%

**販管費率 22.0% (前年比 +0.9%、△100億円)**

- ▶人件費の抑制(△39億円)
- ▶固定費(設備費・償却費・一般管理費)の削減(△23億円)

**経常利益 246億円 (前年比 71.4%)**

**当期利益 120億円 (前年比 74.0%)**

- ▶特別損失 55億円



「サンチェ君とフレッチェちゃん」

(単位) 百万円・%	2011年度通期計画			2011年度通期計画			2010年度実績	
	売上比	修正計画	前期比	売上比	当初計画	前期比	売上比	前期実績
売上高	100.0	820,000	91.0	100.0	850,000	94.3	100.0	901,010
売上総利益	24.2	198,200	91.3	23.8	202,000	93.0	24.1	217,141
販売管理費	22.0	180,800	94.8	21.8	185,000	97.0	21.2	190,801
営業利益	2.1	17,400	66.1	2.0	17,000	64.5	2.9	26,339
経常利益	3.0	24,600	71.4	2.8	24,000	69.7	3.8	34,435
当期利益	1.5	12,000	74.0	1.2	10,000	61.7	1.8	16,211
出店数 (S&B含む)	—	19店	—	—	19店	—	—	12店
設備投資	—	15,000	74.1	—	15,000	74.1	—	20,242
償却費	—	13,800	94.5	—	14,000	95.8	—	14,608

## 第2四半期報告書(11月11日提出)

### 第2【事業の状況】

#### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに顕在化した事業等のリスクは、次のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当企業グループが判断したものであります。

訴訟、規制当局による措置、その他の法的手続等について

当企業グループに対し、訴訟、規制当局による措置、その他の法的手続により、損害賠償請求や事業に対する制約が加えられる可能性があります。

当社は、平成22年11月に公正取引委員会による独占禁止法に基づく立入検査を受け、現在、同委員会の調査に全面的に協力しております。

この四半期報告書提出日時点において、同委員会からの処分等はまだなされておりませんが、調査中の案件につきましては、今後、業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

なお、現時点では業績及び財政状態に及ぼす影響額を合理的に見積ることは困難であります。

---

買って安心、  
ずっと満足

---

